

これからの金山病院の役割 広報げろ 2014.4

これからの金山病院の役割

金山病院は医療の面で地域を支えています。地域の医療で重要なのは日本人の半分が罹るといふ癌の治療、病気やけがなどの救急医療、高血圧や糖尿病などの慢性疾患、高齢化の進行による老人特有の病気です。

◎癌の治療

金山病院では各種癌の診断とともに、特に頻度の高い胃がん、大腸がん、乳がんなどの標準的な手術、術後抗がん剤治療などを行っています。高度の治療を要する場合は大学病院や県医療センターと連携し、有効な治療が受けられるよう対応しています。癌の治療には副作用対策や長期の経過観察が必要で、近くで対応できる病院が必要と考えています。

◎救急医療

有効な救命処置を行うためには30 kmに一つは救急病院が必要です。外傷の救命処置を行うためには癌の手術を行えるような技術を持った外科医が必要です。金山病院では外科医の常駐に努力しています。また肺炎など緊急に入院治療が必要な患者にも内科医が中心になって対応しています。高齢者に多い大腿骨頸部骨折は相当期間の療養が必要なことから生活圏での治療が重要と考え大学から整形外科専門医を招いて手術を行っています。

◎慢性疾患の管理

高血圧や糖尿病は心臓病や脳卒中の原因となり老後の生活に大きな影響を与えます。金山病院では内科医師団が専門性を生かしてこれらの慢性疾患をコントロールする努力をしています。整形外科では寝たきり状態や要介護状態になる危険性の高いロコモティブシンドロームの予防策を外来待合室の情報掲示板で紹介したり診療中に運動指導を行い歩行能力の維持を目指しています。

◎在宅医療支援

在宅で寝たきり状態の方に対して病状のチェックを行うために一定期間入院していただくことができます。これは介護しておられる方の支援にもなると考えています。また、終末を迎えられた方で在宅での見取りが困難な場合病院に入院しての看取りができる体制を設けています。終末期を在宅でというのは誰しも思うところですが、がんの末期などで苦痛を伴う場合など病院で医療の助けを借りた看取りも必要と考えています。

◎病・病連携

金山病院での治療が困難な症例は県病院や大学病院と連携し、より有効な治療を行っています。5月に開院する下呂病院との連携はとくに重要です。地域の医療体制の維持を目指す中で、金山病院が有効に機能するためには下呂病院の高度専門医療が必要で、金山病院の療養病棟の機能は下呂病院を支援することになります。

◎マンパワー

金山病院の医師の増員にはもう少し時間がかかります。それまでの間現在勤務する医師の専門性を生かし地域に貢献してまいります。

下呂市立金山病院 顧問 古田智彦